

## 令和 4 年度

## 保育所・学童保育所入所申請及び入所決定状況について

子育て支援課

## 1. 保育所

## ① 入所申請児童数（一次審査）

【申請期間：令和 3 年 10 月 18 日～11 月 13 日】

令和 4 年度町内保育施設（保育園 5 園、小規模保育施設 3 園）の入所申請受付を行いました。申請状況は全体で 509 人となり、令和 3 年度（前年度）と比較して 26 人減少しています。特に、育休明けの申請が増加した 2 歳児では、20 人（121%）の増となっています。

一方、1 歳児は 19 人（17%）の減、3 歳児では、33 人（30%）の減となっています。

単位(人)

申請児童数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
町内 8 施設	30	90	111	76	102	100	509
前年度比 <sup>※</sup>	1	△19	20	△33	3	2	△26

※前年度（令和 3 年 4 月入所申請）の一次審査時との比較

## ② 受入枠

町内保育施設全体の利用定員 461 人を超える申請数であったため、これに対応するため、各保育施設と以下のとおり調整を行い、492 人の受入枠を確保しました。

- 私立保育園の定員弾力化<sup>※</sup>の継続
- 2 歳児の増に対応するため、小規模保育施設（2 園）で定員弾力化<sup>※</sup>の実施

※定員弾力化…待機児童解消等のため、保育士の配置数及び保育室の面積の最低基準を満たしていること条件として、定員を超えて入所できるようにする制度。

単位(人)

受入枠	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
町内 8 施設	28	81	104	79	100	100	492
前年度比 <sup>※</sup>	1	△5	17	△24	△10	0	△21

### ③ 入所決定状況（一次審査結果）

入所申請者 509 人のうち、9 人が育休延長による保留希望であったため、実際の入所希望者は 500 人となっています。

この 500 人を対象に「宮代町特定保育施設及び特定地域型保育事業の利用調整に関する基準」に基づく審査を実施した結果、入所決定児童 485 人、特定園希望<sup>※</sup> 14 人、待機児童 1 人となりました。

なお、町では待機児童解消の対策として、令和 5 年度の開園を目指し、民間の保育園（定員 60 名）の整備を進めています。

※特定園希望…希望以外の保育園等に空きがあっても、特定の保育園を希望しているため、入所しない場合

単位(人)

内訳 クラス	申請者 A	保留希望 B	入所希望 C (A-B)	受入 可能枠 D	入所決定 E	入所不可 F (C-E)	左の内訳	
							特定園 希望 G	待機児童 H
0 歳児	30	0	30	28	27	3	3	0
1 歳児	90	9	81	81	81	0	0	0
2 歳児	111	0	111	104	103	8	8	0
3 歳児	76	0	76	79	75	1	1	0
4 歳児	102	0	102	100	100	2	1	1
5 歳児	100	0	100	100	99	1	1	0
合計	509	9	500	492	485	15	14	1

### ④ 二次審査の受付

1 月 21 日から二次審査の受付を開始するとともに、一次審査後（入所決定後）の辞退や転出等により入所可能となった施設ごとの受入枠を町ホームページで公表しています。

最終的な入所決定児童数等は、二次審査後の決定となります。

## 2. 学童保育所

### ① 入所申請及び入所決定状況（一次申請）

【申請期間：令和3年10月18日～11月13日】

一次申請における申請数及び入所決定の状況は下表のとおりで、入所申請者450人すべてを入所決定しました（現在も二次申請として受付中です）。前年度と比べ、申請数は全体で10人の増、特にふじ児童クラブでは43人と大幅な増となっています。

単位(人)

	かしの木 (百間小)	いちようの木 ※分室含む (東小)	ふじ (笠原小)	かえで (須賀小)	計(全体)
定員	120	100	160	80	460
申請数	88	85	193	84	450
決定数	88	85	193	84	450
定員に対する入所率	73%	85%	120%	105%	83%
前年度比	10	△1	43	△2	50
前年度申請者数	78	86	150	86	400

### ② 学年別状況

申請児童を学年別の状況を見ますと、前年度と比べ3年生が減少していますが、1年生から3年生までの低学年が全体の約7割を占めています。

単位(人)

	入所決定児童数	全体の申請数 に対する率	前年度申請者数	前年度比
1年	126	28%	92	34
2年	94	21%	92	2
3年	88	20%	101	△13
4年	78	17%	63	15
5年	42	9%	36	6
6年	22	5%	16	6
計	450	100%	400	50

内訳（施設別）

すべて単位(人)

かしの木児童クラブ			いちようの木児童クラブ			ふじ児童クラブ			かえで児童クラブ		
	入所 決定	入所数 前年度比		入所 決定	入所数 前年度比		入所 決定	入所数 前年度比		入所 決定	入所数 前年度比
1年	17	3	1年	25	6	1年	60	24	1年	24	1
2年	17	△3	2年	20	△2	2年	37	7	2年	20	0
3年	18	△2	3年	18	△10	3年	33	△5	3年	19	4
4年	19	6	4年	15	8	4年	34	3	4年	10	△2
5年	13	7	5年	2	△5	5年	22	8	5年	5	△4
6年	4	△1	6年	5	2	6年	7	6	6年	6	△1
計	88	10	計	85	△1	計	193	43	計	84	△2

### ③ ふじ児童クラブ(笠原小学校)の入所児童数増への対応について

#### ■令和4年度の対応

ふじ児童クラブ(笠原小学校)については、前述のとおり、令和4年度の入所申請(決定)者数が大幅に増加し、現在の保育施設の収容人数(160人)を上回ってしまったことから、喫緊の対応として、笠原小学校の協力を得て、令和4年度は、校舎内の集会室を放課後のみ借用する方向で準備を進めています(エアコン設置工事費を補正予算要求)。

#### 【保育施設(令和元年度整備)の収容人数が大幅に不足することになった理由】

- 入学児童数の推計値が増加となったこと
- 新1年生の入所申請者数が想定を大幅に上回ったこと
  - …令和3年度までの入所申請率は50%弱⇒令和4年度は60%超
  - …保護者の就労等による保育ニーズの増
- 中高学年の継続率が想定を大幅に上回った(退所率が低下した)こと
  - …指定管理者による運営⇒保育内容(行事等)が充実し人気が高まった

#### ■令和5年度以降の対応

笠原小学校においては、今後も数年間は児童数の増加が続くと推計されており、学童保育所についても、令和4年度と同等の入所申請(継続)率となった場合は、令和5年度で220人(現定員+60人)超、令和8年度には240人(現定員+80)超の入所申請となることが予想されます。

しかしながら、令和5年度以降は、小学校本体の児童数増加への対応として集会室の活用が検討されているため、学童保育所として長期的に借用することは難しい状況となっています。

このため、現在、町内部において、令和5年度以降の対応方針(方策)について検討を行っているところです。